

先史考古学演習

選択 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

春期の先史考古学特殊研究の課題にしたがって、各自で論文を検討する。その後、各自が保有する資料を使って行動復元を行なう。最初の授業で話し合いを行い、各自の方向性を勘案しながら、具体的資料・論文を選択していく。

2. 授業の到達目標

1. 行動研究の基礎的方法を修得する。
2. 各自の研究テーマに関わる具体的方法を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

発表・討論(50%)とレポート(各50%)によって評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

Patterson, T. C. The Theory and Practice of Archaeology. Second Edition. 1994. New Jersey, Prentice Hall.

5. 準備学修の内容

編年に関する論文探索をすすめ、読解を行なう。

6. その他履修上の注意事項

各自が保有する資料にどのように研究方法を適用するか、常に検討しておく。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入
- 【第2回】 論文の検討:資料編年(1)
- 【第3回】 論文の検討:資料編年(2)
- 【第4回】 論文の検討:資料の空間分布(1)
- 【第5回】 論文の検討:資料の空間分布(2)
- 【第6回】 論文の検討:地域における文化の展開(1)
- 【第7回】 論文の検討:地域における文化の展開(2)
- 【第8回】 資料の検討:技術・型式学的検討(1)
- 【第9回】 資料の検討:技術・型式学的検討(2)
- 【第10回】 資料の検討:技術・型式学的検討(3)
- 【第11回】 資料の検討:資料の変遷過程の検討(1)
- 【第12回】 資料の検討:資料の変遷過程の検討(2)
- 【第13回】 資料の検討:資料の空間分布の検討(1)
- 【第14回】 資料の検討:資料の空間分布の検討(2)
- 【第15回】 総括